

議会改革シンポジウム
福岡市議会改革 市民検証委員会

古賀市議会における 事例報告

2017年5月7日（日）

古賀市議会議員 奴間健司



FBぬまけんじ



ぬまけんじ



議会基本条例で市民による政策提言と位置付け

●基本条例 第6条第4項

議会は、請願及び陳情を市民による政策提言と位置づけ、その審議において必要があると認める場合は、**提案者の説明および意見を聴く機会を設けることができる。**

請願審査

- ①所管委員会に付託
- ②紹介議員から願意の説明
- ③紹介議員に対する質疑
- ④請願者の意見陳述、質疑
(5分間で意見陳述)
- ⑤討論、採決

陳情

- ①陳情文をコピーして
全議員に配布
- ②議会だよりに記載

請願・陳情

請願者の意見を正式に聞く機会を実現



市民建産委員会
(2015年1月19日)



文教厚生委員会
(2016年9月5日)

- ① 紹介議員の説明と質疑 ⇒
- ② 請願者の意見陳述 (5分以内)
- ③ 請願者に対する質疑 ⇒
- ④ すべて委員会録に記録

議会報告会

議会報告会幹事会

各常任委員会、議運の
正副委員長で構成



前期

2014年4月30日・議会応接室
初めての幹事会

議会基本条例・第7条

- 議案等の審議の経過及び結果を報告
- 市政全般に関する課題について、
市民及び議会が自由に意見を交換する場
- 議会報告会を開催するよう努める

議会報告会実施要綱

- 毎年度1回以上実施するものとする
- 企画、統括する組織として幹事会を置く

議会報告会

プレゼン・リハーサル



前期

2014年7月のリハーサル



今期

2016年10月のリハーサル

議
ぎ

会
かい

告
こく

会
かい

議会報告会

平成 27 年

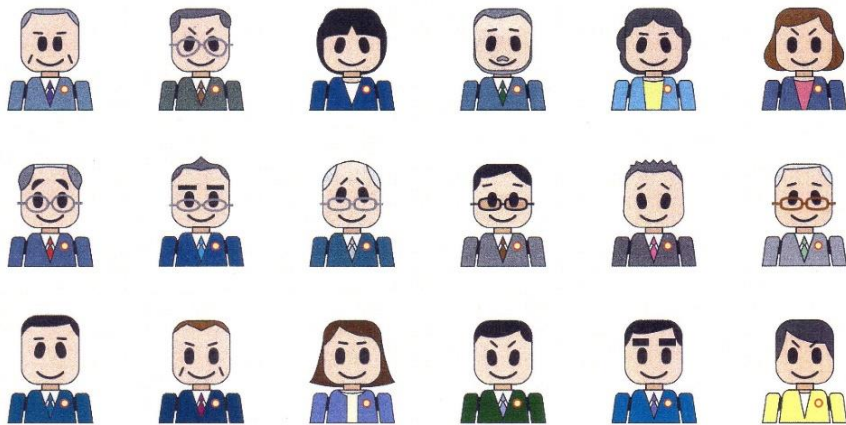
14

日
にち

土
どようび

リーパスプラザ大会議室
19:00~20:30

古賀市の話



古賀市のこと、一緒に語り合しましょう
古賀市民 ✦ 古賀市議会

主催：古賀市議会 お問い合わせ：古賀市議会事務局 092-942-1134

今期

← 今期第1回目の議会報告会
(2015年11月14日)

→ 今期第2回目の議会報告会
(2016年10月22・23日)

みんなの声を行政に！古賀市議会と語りましょう！

今の古賀市、未来の古賀市

議 会 報 告 会



今年は3カ所で開催

10月22日(土曜日)
リーパスプラザこが
交流館
13:30~

10月22日(土曜日)
米多比児童館
18:30~

10月23日(日曜日)
千鳥苑
18:30~

主催：古賀市議会 お問い合わせ：古賀市議会事務局 092-942-1134

議会報告会



カフェ方式
議会報告会
2015年
11月14日



今回初めて取り
入れた「カフェ
方式」3グループ
に分かれ、各
委員会委員が順
番に回ります。
参加者から多く
の意見が出され
ました。
2016年も9
月定例会後に3
中学校区で開催
しました。

議会報告会

議会報告会の
流れ
対話の時間を
できるだけ
多く確保

2014年度	3会場	・	103人
2015年度	1会場	・	18人
2016年度	3会場	・	70人



各常任、決算、政策推進会議報告・25分

カフェ方式

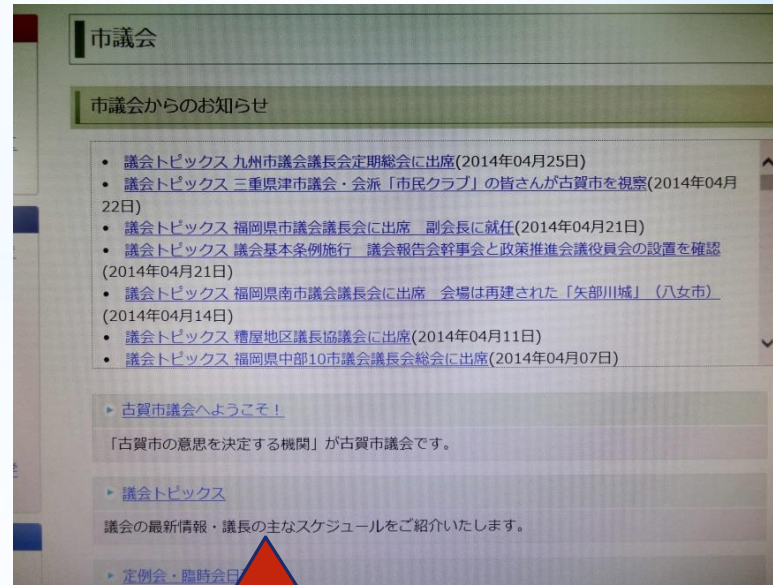
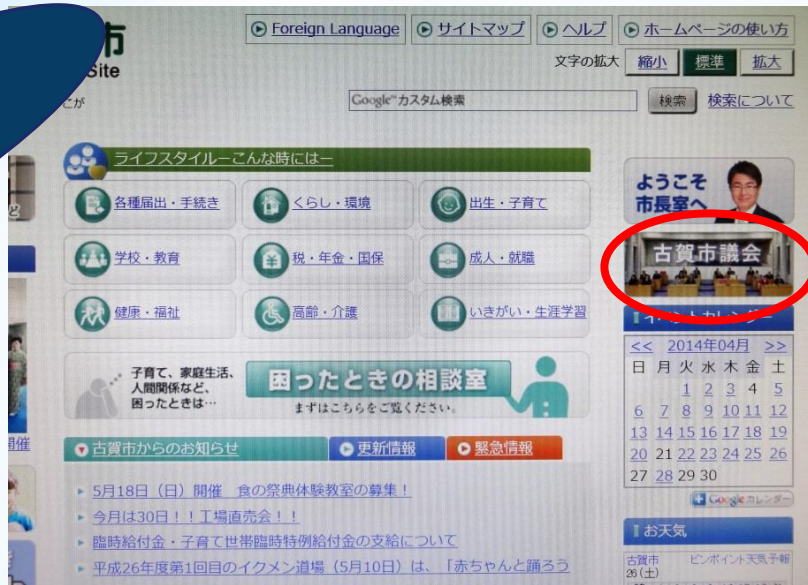


各常任テーブルごとの対話・40分

全体質疑・15分

情報共有

1年間の検討を経て、2012年6月議会からインターネット中継・録画配信を始めました。



議会トピックスでリアルタイムの議会情報発信

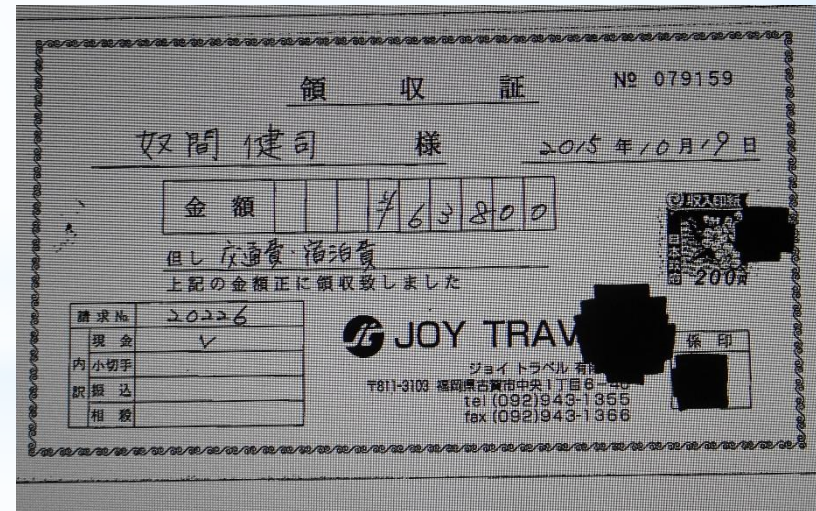
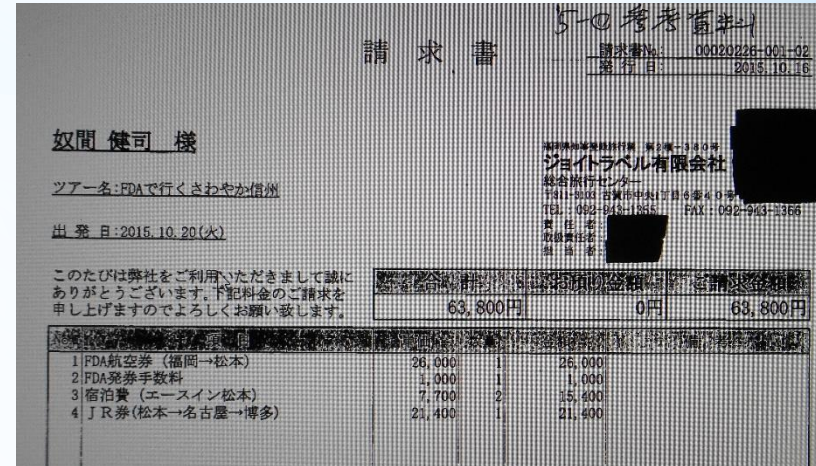
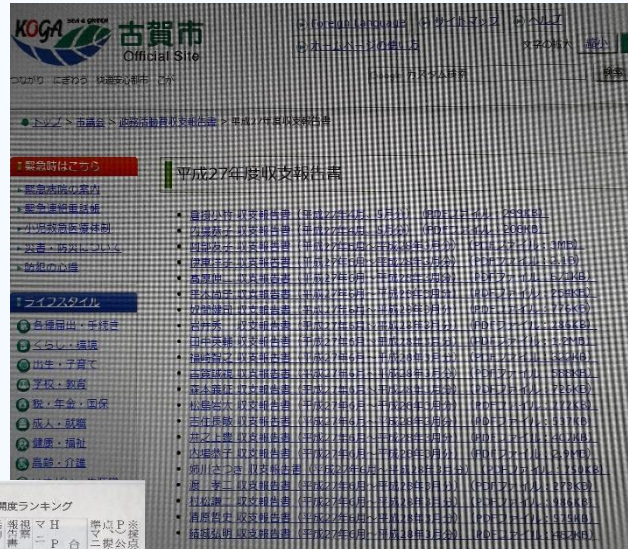
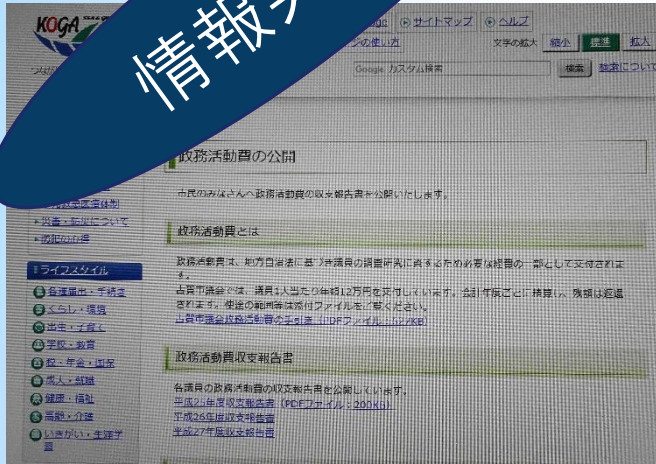
委員長報告も掲載
付託議案の審査結果
閉会中の所管事務調査



2016年4月からスマホ、iPadでも中継・録画を見ることができようになりました！

政務活動費の収支報告をインターネット公開しました (2015年1月21日)

情報共有



2013年2月・政務活動費交付条例の全部を改正
使途範囲を拡大せず、議長による透明性確保義務も明記

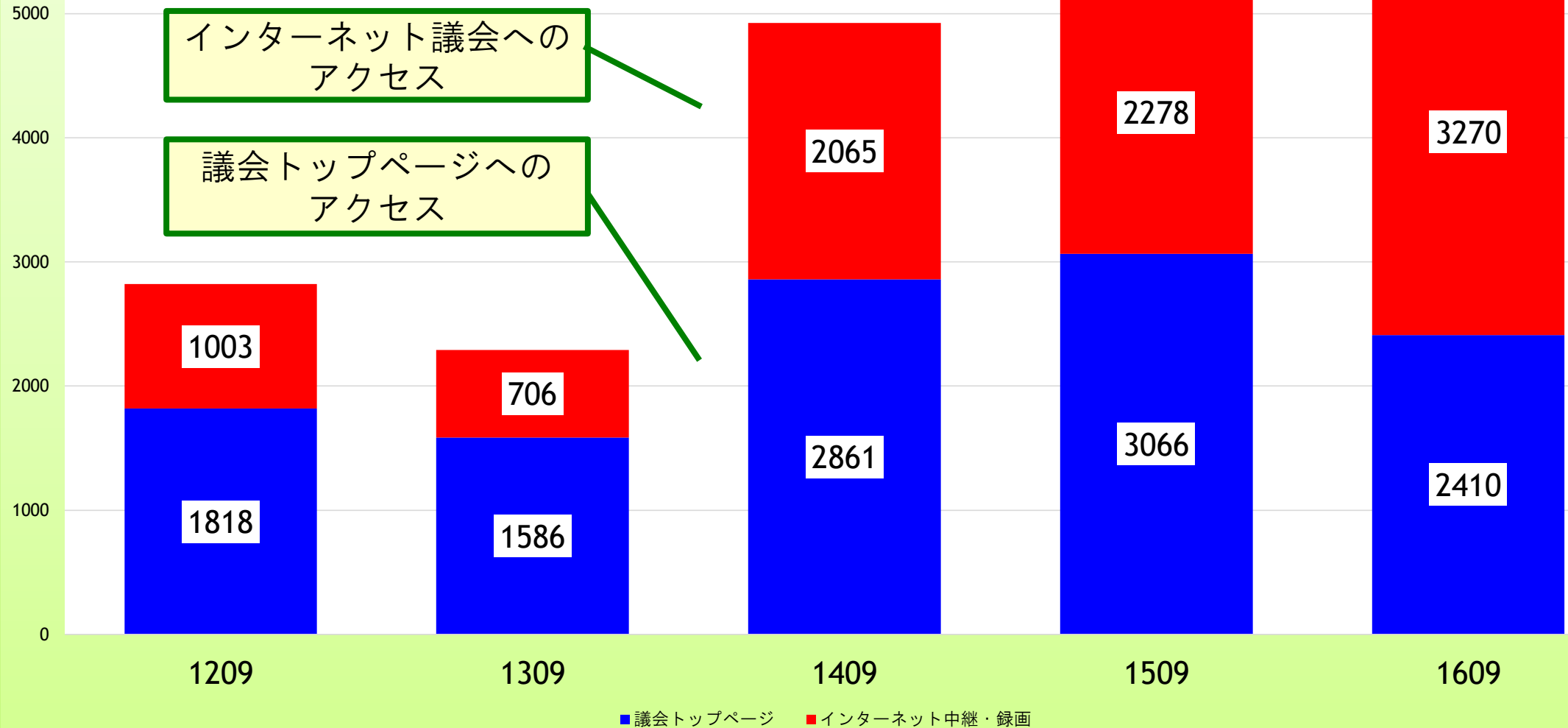
2014年度分から領収書・収支報告・調査報告をインターネット全面公開へ

古賀市議会・ホームページ月間アクセス実績

2012年から5年間の9月の推移

インターネット議会への
アクセス

議会トップページへの
アクセス

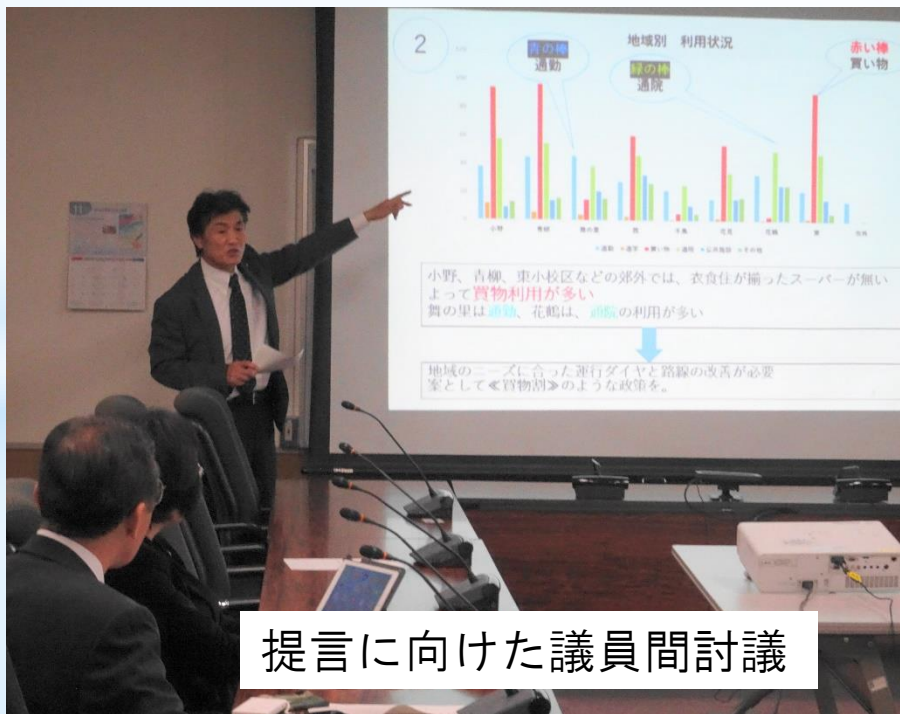


市民の声

政策推進会議全体会の様子
市民の声をもとに提言に向けて
議員間の討議を積み重ねました



政策課題の発表会



提言に向けた議員間討議

議会基本条例・第13条

- 市政に関して重要なものについて、議員間で共通認識及び合意形成を図り、政策立案を推進するため、**政策推進会議**を開催することができる
- 提言として取りまとめたものについて市長等に報告することができる

政策推進会議運営要綱

- (所掌事務) 政策課題の決定、調査研究の実施、政策的条例案の策定、市長に対する政策提言の報告
- (役員会) 副議長及び各会派から選出された者で役員会を置く。
- (役員会の所掌事務) 政策課題の募集及び選定、政策課題発表会の企画及び実施、議会報告会を受けた政策課題の発意、緊急性および必要性が高い政策課題の発意

市民の声

全議員による現状調査

2016年8月上旬

全議員が市内の路線バスに乗車して現状調査を行いました。



バス乗務員から説明を聞きました



バスの中でアンケートに記入する高校生



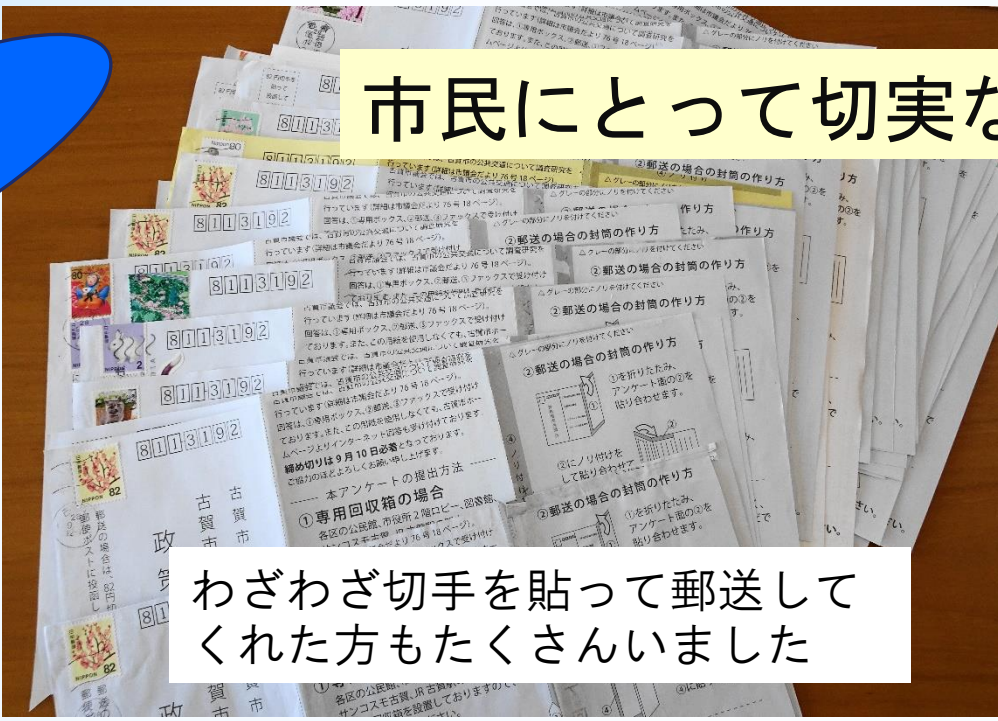
乗客から直接聞き取りもしました



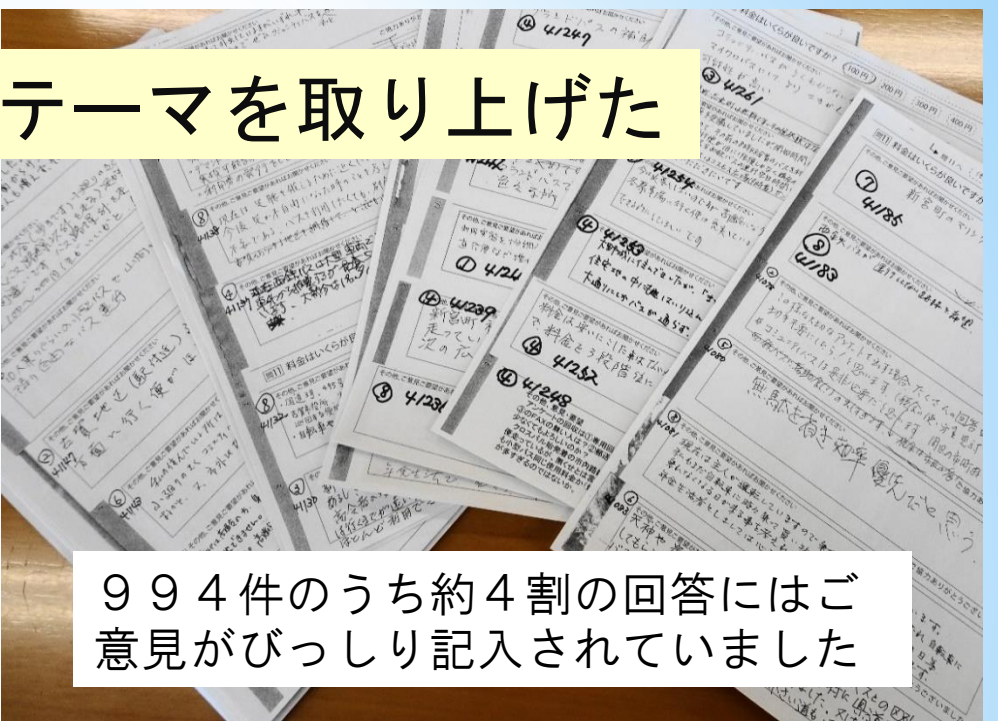
朝夕は通勤・通学が多かったです

市民の声

市民にとって切実なテーマを取り上げた



わざわざ切手を貼って郵送してくれた方もたくさんいました

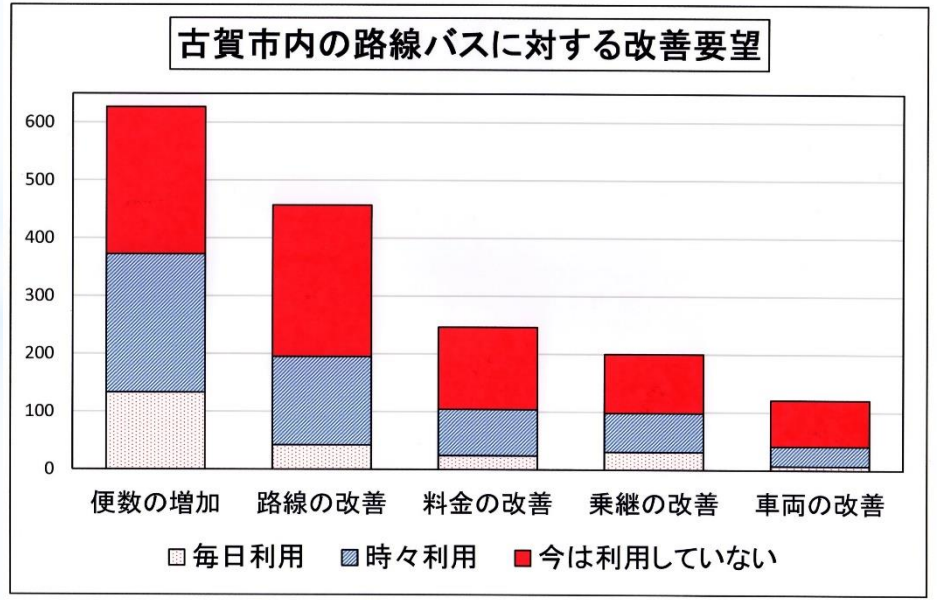


994件のうち約4割の回答にはご意見がびっしり記入されていました

2016年8月～9月10日
公共交通に関するアンケート
私たちの予想を遥かに超える
994件の回答が寄せられました



994件の回答をパソコンで集計



市民の声

3. 最終報告・提言に当たって

今回最終報告・提言するにあたり、その意義と今後の考え方について述べる。

① 議会の取組結果を市民に報告する意義

994件という多くの回答をいただいた。その期待の声に誠実に応えるため、この「最終報告と提言」をもって市民の皆さんへの議会として説明責任をはたそうという意義である。

② 議会として継続して調査・研究するための成果物としての意義

今回の「最終報告と提言」を平成29年度のバス運行に活かすことを求める。さらに、調査・研究の結果を平成30年度古賀市における公共交通のあり方に反映されることをめざしたい。

③ 執行部に対し、市民、議会の意見を伝える意義

- 平成29年度の公共交通のあり方に活かすことを求める。特に、利用者離れにつながり悪循環をまねきかねない減便については慎重な取り扱いを求める。また平成29年度から協定先が変更されることの影響を注視したい。
- さらに、平成29年度中には議会と執行部がキャッチボールをしながら今後の公共交通体系を検討することを求めたい。この「最終報告と提言」がそのための共通認識の基礎になることを期待する。

最終報告・提言のまとめ部分
(2017年3月2日提出)

第14号議案 平成29年古賀市一般会計予算についてに対する決議

平成27年から政策推進会議において「公共交通」について、2年間にわたり、そのあり方について調査検討を重ね、3月9日に最終報告と提言を市長に渡した。

平成28年の夏にはバスの実車調査とアンケートを実施。994人の方々から切実な声が寄せられました。それによると、料金よりも、バスの増便や路線改善を求める声が非常に多いことがわかり、平成29年度予算で示された減便計画は、市民の望むものではなく、市民生活においてさらに不便を強いるものである。

高齢化が進み、高齢者による交通事故の多発、公共交通に頼り生活を維持する多くの市民のことを鑑み、スピード感をもって業務を遂行され、早急に市民の利便性の確保を願うものである。

そこで、市長に対し以下の点を実行されることを求める。

- 古賀市議会政策推進会議が提出した、市内公共交通に関する提言は、福祉的、教育的視点のみならず、マイカーの利用を減らし、地域温暖化の原因である二酸化炭素の発生量の抑制にも通じるものである。未来に継承していくべき地域循環型社会の推進方策でもあるとの認識に立ち、最大限にこれを尊重し施策に誠実に反映されたい。
- 平成29年第1回定例会が開催された2月27日後、3月8日に配布された資料要求により明らかとなった、平成28年度比7便の減便による利用者にもたらす影響を、平成29年度の早い時期に極力回避、もしくは代替する措置を講じること。
- 7系統別基幹交通を補完する、市内全域における代替交通の運行等を願望する切実な市民の声に寄り添い、この施策の検討実現にスピード感をもって業務遂行、市民への事前周知には万全を期すこと。

以上、決議する。

平成29年3月27日

古賀市議会

一般会計予算に対する「決議」
(2017年3月27日可決)

西鉄 4月ダイヤ改正



西鉄が4月1日のダイヤ改正で古賀市内を走る路線バスを減便させたことに対し、これまで路線の改善や増便を求めていた市議会が不満を募らせている。3月定例会では西鉄への運行補助約4千万円を計上した2017年度一般会計当初予算案を可決したものの、減便について、市民の利便性が損なわれ、利用者減になる」と反発の声が上がった。地域の高齢化が進む中、特に交通弱者の高齢者の足をどう守るのか、市は提案を続ける。(上野洋光)

補助金支出認め苦言「市民の声反映を」

バス路線の赤字補填を理由に組織統合の結果、運転中古賀市が05年度から始めた西鉄への運行補助費は年々拡大。西鉄から路線廃止を通告された09年度は約2400万円だったが、17年度予算にはさらに乗せられた結果、全体では平日98便が91便に、土日7便が68便になった。西鉄広報課は「利用状況に応じた減便について、取材に「利用状況に応じた減便について、取材に「利用状況に応じた減便について、取材に」

高齢者の足確保へ模索

「路線の改善、便数増を求める市民切実な声を受け止めるべきだ」「利便性に沿って利用者の声を反映させ、路線の見直しも便数増など改善するべきだ」と提言したばかりだった。古賀市と隣接する新宮町はバス路線の一部廃止を受け、03年度からコミュニティバスの運行費用として年間約5千万円を支出している。市幹部は「餅は餅屋、4千万円で運転手の人件費、車両調達などを市が負担するのは難しい」と話し、1日バス提供など利用促進策を進める。古賀市バス停に新しいタイプのバスが停車し、乗降客が多いJR古賀駅のバス停。帰宅中の高校生たちも「列車とバスの接続が悪い」と不満を漏らした。



乗降客が多いJR古賀駅のバス停。帰宅中の高校生たちも「列車とバスの接続が悪い」と不満を漏らした。

バス減便 古賀市議会反発

170409a07

西日本新聞報道
(2017年4月9日)

市民の声

議員6人で市民への報告ならびに意見交換会を共同開催
60人の市民が切実な声を発表

どうする公共交通！
どうなるの？西鉄バス
～4月1日からのバス減便の影響は～
市民と議員有志の意見交換会

とき 4月22日(土)

14時から15時30分
ところ 千鳥苑・大広間



- ・議会の取り組み報告
- ・平成29年度の西鉄バスの減便について
- ・意見交換会

参加費は無料です。
どなたでも参加できます。
ご意見をお聞かせください。
お待ちしております。

主催 公共交通を考える会

呼びかけ人 田中 英輔 古賀 誠視 伊東 洋子
奴間 健司 村松 謙二 内場 恭子



市民の声

議員 6 人で市民への報告ならびに意見交換会を共同開催
提言を具体化できるか正念場



市民の声

市民から届いた切実な声

先日(4/4)古賀駅東口バス停で、突然 声
かけられ、びっくりしました。
その日、話を聞いて頂いた良かったです。
時間があまりなくて、伝えたい気持ちが十分
伝わりませんでした。お手紙書かせて
頂きました。

今回、バスの時間が変更されたが、先日にも
お話をさせて頂いた様に、東口よりグリーンパーク
までの時間、18:00の次が19:55と言ったのは
あまりにもひどいと思います。

是非、ご検討下さい...

せめて、一時間以上はほしいです。

乞うご望み下さい。日、祭日等と時間を
分けが、伺っても良いと思えます。

私も以前より小畑に住んでいますが、交通の
手段はバスしかなくて、以前はタクシー利用で

大変でした。

当、車を所有していない方もなく、

今、特に高齢者の方には、運転免許証を
返却される方もいらっしゃる。

バスは、小畑に住んでいる人達にとり、唯一の
交通手段です...

朝の時間の事も話したいですか？

7:20、39 (グリーンパーク発→須賀神社着)

この時間もかなり何年かぶり、言ってきましたが
市役所も そのままでした...

次に検討してほしいと言ったことも、今回も伺っています。
お客様の事を思い、運転業務の負担の軽減、会社側の
条件は優先されている気がしますが、

朝の8時の時間帯も、7:39を行けば、かなり
時間に余裕があり過ぎ、(1時間以上) 9:11に
行けば、時間はちょうど、ハタバです。渋滞に会い
バスが遅れると、遅刻です。

(飛車ではありません。その日一番のバス利用者です)

バスを利用しない方には、大した事では
ないと思いますが、今回、本当に深刻に考えます。

と、い、1つ、別件ですが、聞いて頂けませんか？
4/4(月)古賀市役所に行き、サコスマ行き、ニヤトル
バスに乗りたいと思っていたら、3乗を運転し始めました。
サコスマに福祉タクシー券を受理に行き、乗ったのが
その日...。4月10日の受理の日で、その前に
ニヤトルバスの運行を中止するのはどうかと思いました。
伺い様に、お車持っていない方も、高齢者の方も、
歩いて下さいと言った事があります。タクシー利用して下さい。
と言った事があります。せめて、4月の1ヶ月間だけでも
運行して頂けたら、と思いました。

色々、話したら、お返事はありますが、

もう少し、市民の気持ちを考え、行動して頂けると様
々期待しています。

ご挨拶まで失礼致します。

議会改革度

早稲田大学マニ
フェスト研究所
議会改革度
ランキング

古賀市議会の
評価の推移です

2014年、2015年度
2年連続で九州・沖縄で
第1位の評価

早稲田大学マニフェスト研究所・議会改革度調査結果の推移

福岡県古賀市議会

	総合順位	内訳順位			議 長	主な出来事
		情報共有	住民参加	機能強化		
2011年度	277	298	160	423	矢野治男 奴間健司	議会基本条例等調査特別委設置
2012年度	594	762	512	527	奴間健司	インターネット議会中継開始 海外視察費減額修正
2013年度	312	373	630	265	奴間健司	深夜花火規制条例 議会基本条例可決 保育所新設補助減額修正 会議規則の改正
2014年度	32 (九州沖縄 で1位)	55	91	39	奴間健司	小中学生の議場での作文発表 議会基本条例施行 押しボタン表決システム導入 初の議会報告会 災害対応要綱・マニュアル 議会事務局体制強化の要望書 政務活動費収支報告公開 看護大学パートナーシップ協定 予算特別委インターネット中継 議会報特別委を常任委員会化
2015年度	27 (九州沖縄 で1位)	23	86	62	奴間健司 結城弘明	小中学生の議場での作文発表 インターネット中継対象拡大 政策推進会議政策テーマ発表会 議会報告会

情報共有

住民参加

機能強化

